

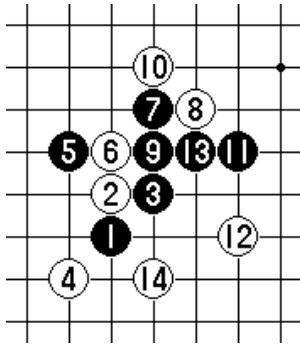
連珠っておもしろい

九段 河村典彦

●第51回● 連珠ソフトの威力

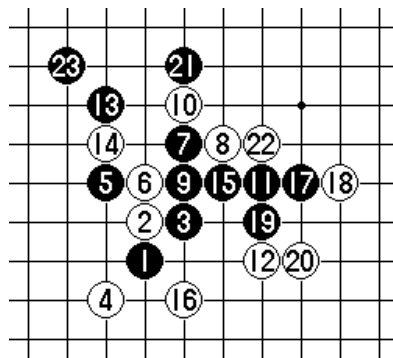
世界戦の話は前回したが、その際に2つの連珠ソフトを教えてもらった。レンリブとブラックストーンである。今やこの2つがないと生きていけないらしい。ブラックストーンはかの有名な対局ソフトであるが、実際使ってみるとあまり参考にならない、というかうまく使えない。やたら時間がかかるし簡単な追い詰めも時間がかる。その代わりに呼手を打つのは得意そうだし、それより今重宝しているのはレンリブの最新版である。RIFのHPから簡単にダウンロードできる。このソフトのえらい所は追い詰め検索機能があることである。ただし、これも100%完璧ではない。ただ、簡単な追い詰めがある局面ではあつと

いう間に発見してしまふ。こう言うときあまり役に立たないように聞こえるが、「簡単」というのは「コンピュータ」としての「簡単」という意味である。つまり四追いなどは一番簡単である。あまりまだ石が多くなると読むややすい。つまり、序盤の研究にもつてこいという訳である。実際に使った例を紹介しよう。図は先のA級リーグの中山・山口戦である。山口九段の白4、6の作戦に黒7と溪月峡月定石に戻した所である。中山君が打った黒13が失着だった。白14と打たれて



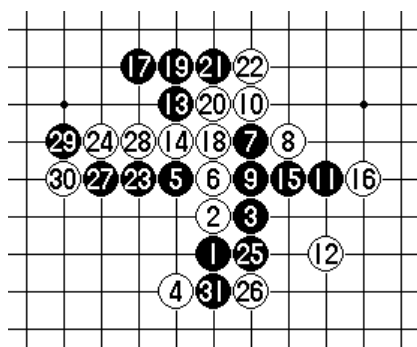
勝てなくなってしまう。

レンリブでここから追い勝ち検索(F5ボタンを押す)をしてみると、考え込んだ。こういう時はどうやらないらしい。そこでそれをやめ、黒13の定石(らしい)を打つてみた。白14の交換をしてから黒15と打ち、同じように白16と止めた所から検索を試みた。



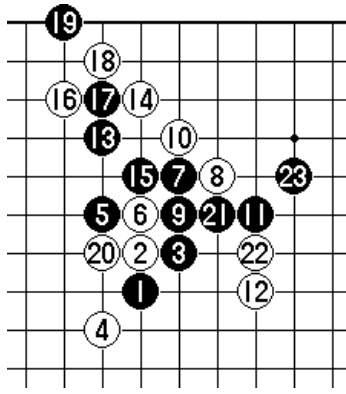
すると今度は1秒で追いつくのを発見。と言っても示すのは次の一手だけだからあとは手動でやらないといけない。白の止めを打つてまたF5を押すという具合である。追い勝ちがあると、

白のどんな止めでも黒勝ちを出してくれる。先に黒17の四ノビをするのが気に入らないが、黒23のトビ三は人間の目では見えづらい。次に白16を変えてみる。ここを叩くのが一番強そうだが、これも1秒で発見。こういう時は一体どうやって勝つんだ、というわくわく感がある。



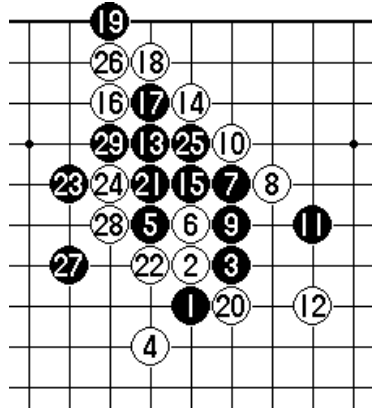
いきなり黒17!と打つたのでびっくりしたが、なるほど黒21と打つ狙いか。しかし、白22のノリ手なら?と思ったら堂々と黒23。ああそうか、ミセ手か。

とこつちが理解するのに時間がかかる。しようがないので白24と頑張ったが、黒27、29と打たれてようやく納得。これだけの手順を1秒で読んでくれるとありがたい。人間が研究すると抜け漏れもあるし、1日かかるであろう。なるほどなくと思っただけで今度は白14の強防を探してみる。すると、この突き出しが強そうだからこれをかけてみると、これも3秒で解いてしまった。



今度は黒15とズバッと引くらしい。で、次は黒17だ。どうやらコンピュータはノリ手が怖くないらしい。一応白18、20と止めて

みたら、あらら、黒21と抜けた。なるほどね、やっぱり斜めの筋は見えない。では、ということ白20を変化したが、

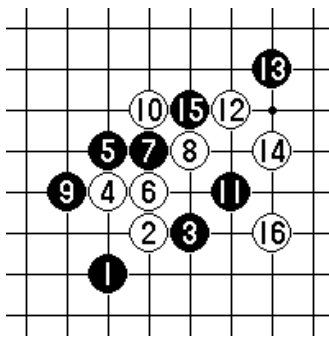


今度は黒21、23、25という人間では考えられない手順で攻めてきた。黒27と打たれてようやくこれが黒勝ちとわかった。これが弟子ならこんこんと説教したであらう。しかし、筋は悪いがちゃんと勝っている。これがコンピュータなんだろう。これ以外にも白14をいろいろ変えてみたが当然黒勝ちしか出ない。ということ、わずかの時間で

の黒13で必勝ということがわかったのである。私自身、ずいぶんこの方法で研究が進んだと実感している。半自動と言うより手動感覚なのがいい。これをブラックストーンで全変調調べうと思っただけならかなり時間がかかるだろう。掲示板で新しい手を打たれたら、これを使って調べてみると序盤をうまく凌ぐことができる。もつとも、相手はブラックストーンや他のソフトを使っているようだから、成績は奮わない。しかし、この手法で脳の奥に眠っている感覚を引き出すことができそうだ。新しいインスピレーションがどんどん生まれそうである。

また、控室でも威力を發揮する。ATの最終戦、岡部・ダイ戦で、何となく発見した白16の必勝の呼手、黒17でその周りの防ぎをすべて試したが、あつという間に白勝ちが全部出てし

まった。ということこの手を打たれたら岡部君負けだと思っていたら、本当に打たれてしまった。こういう時は控室もあきらめがつく。



ただし、このレンリブは中盤以降になると途端に時間がかかるようになる。特に剣先が増えると読めないようである。追い勝ちと出たので進めてみたら、四ノビの防ぎで勝てなくなったという事例もあった。こういう所はまだご愛敬だろうが、いずれすべての勝ちを瞬時に読み切るソフトが出るのは間違いないだろう。